

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人weighty 重症児デイサービスkokoro・tsubomi		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		2024年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 5日		2024年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブ(民間学童MAPS)との交流や活動がある。	お互いに良い相乗効果をもたらせるようにしている。 必ず自己紹介をしている。仲を深めるために、少人数のグループ毎で関わりをもっている。	ニュースポーツなど、みんなで行えることを企画し、実施していく。 勉強会(交通安全教室)など一緒に学べる体験を行っていききたい。
2	家族参加型イベントやきょうだい向けのイベントの実施をして	利用児と家族と一緒に出来る製作を考え、利用児ができるよう工夫し実施している。 きょうだい児のみで集まれる場所を作り、仲を深められるようにしている。 家族間のコミュニケーションが取れるよう、声かけや配置を考えている。	家族主体のイベント(以前行ったヨガ教室など)を実施していく。
3	各委員会を中心に避難訓練の実施や感染対策の掃除などの計画を立て実施している。	職員全体に対して勉強会を実施、振り返りをしている。	委員会活動を継続していく。 家族にも委員会の活動が分かるように発信していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)は行っておらず、家族等も参加できる研修会などの情報提供の機会が少ない。	チラシや事業所内に掲示しているが、家族が見る機会が少ない。 保護者・きょうだい児参加型の研修会(子どもと参加できる)自体が少ない。	SNSや公式LINEを活用して発信していく。 掲示してある物には、ご家族に声かけしていく。
2	地域住民を招待するイベントは実施できていない。	コロナなど感染の問題があった。	新施設もできるので、新施設も一緒に地域の方を巻き込んで作り上げたい。
3	廊下や通路に物やバギーがおいてあり、通行の妨げになっている。また、マットで過ごす子の近くにワゴンなどがあり、高い所に物がある。	使わなくなったバギーや物がある。 ワゴンを一人一人利用しているので、子どもの近くにある。	さらに整理整頓をして、バギーの置き場の確保をする。 マット使用時は、ワゴンは使用しない。